

係ではシラカワブシ *Aconitum aizuense* Nakai, アイヅトリカブト *Aconitum zuccarinii* Nakai (1914) (両種とも, オクトリカブト *A. subcuneatum* Nakai (1914) に統合された)。飯豊山採品を基準標本とするミヤマトリカブト *Aconitum nipponicum* Nakai (1917), 中原源治が1904年磐梯山採集品や八ヶ岳産のものを基準標本としたホソバトリカブト *Aconitum senanense* Nakai (1808) がある。会津東山を基準産地とするアイヅヒメアザミ (1933) *Cirsium aidzuense* Nakai (1937) を, 尾瀬産を基準標本としてオゼヌマアザミ *Cirsium hololepis* Nakai (1930) を発表した。矢田部・松村の飯豊山採品や早田文蔵の尾瀬平の採品などによって, ウラゲコバイケイ *Veratrum stamineum* Maxim. var. *lasiophyllum* Nakai (1937) を記載した。中井はタケ科を研究し多くの種を発表した。福島県産では, 白河在住の鈴木貞次郎とその長男鈴木貞雄の採品でカワウチザサ *Sasa suzukii* Nakai (1935), イチノキザサ *Sasa sadaoi* Nakai (1935), カナヤマザサ *Sasa kanayamensis* Nakai (1935), ニシゴウザサ *Sasa nishigoensis* Nakai (1935), タカネザサ *Sasa kasimontana* Nakai (1935), ナカハタザサ *Sasa confusa* Nakai (1939), ヨモギダコチク *Arundinaria amoena* Nakai (1934), ケスエコザサ *Arundinaria kanayamaensis* Nakai (1934), シラサカザサ *Pleiblastus longifolius* Nakai (1935) を記載した (これらのうち, カワウチザサ, ヨモギダコチク, ケスエコザサのほかは鈴木貞雄により, 他種に統合された)。

本田正次は, 磐梯山採品により, バンダイショウマ *Astilbe congesta* (Boiss.) Nakai var. *bandaica* Honda を記載し, 馬場 篤の耶麻郡北山村採品にオオツリバナ *Euonymus oxyphyllum* Miquel var. *magna* Honda (1935) → *E. planipes* Koehne, 会津産によって, ケアブラチャン *Parabenzoin praecox* Nakai var. *pubescens* Honda (1936), 尾瀬産によって, オゼノクロウメモドキ *Rhamnus senanensis* Koidzumi var. *parvifolia* Honda (1937), アオジクミヤマシガシラ *Struthiopteris castanea* var. *viridipes* Honda (1937) を命名した。

鈴木貞次郎 (1887-1967) とその叔父, 鈴木傳吉 (後に清水と改姓) は, 西白河郡表郷村金山で採集したカヤツリグサ科の植物を福島師範学校の根本莞爾に同定を求めたが, すぐにはわからなかった。牧野富太郎は, これを新種として *Scirpus pseudo-fluitans* Makino ビャッコイ (1905) として発表した。これは中原源治が戸ノ口原で採集したものの中に入れて, 牧野に送ったためビャッコイの原産地にまちがいが生じた。戸ノ口原は白虎隊の激戦地である故にこの和名となったが, 金山以外の地には産しない。鈴木は白河で, シラカワタデ *Persicaria amblyphylla* Hara とイワキハグマ *Pertya* × *suzukii* Kitamura, 大滝根山でケナシエゾノタチツボスミレ *Viola acuminata* Ledeb. var. *glaberrima* Hara → *V. a. f. glaberrima* (Hara) Kitamura を発見した。